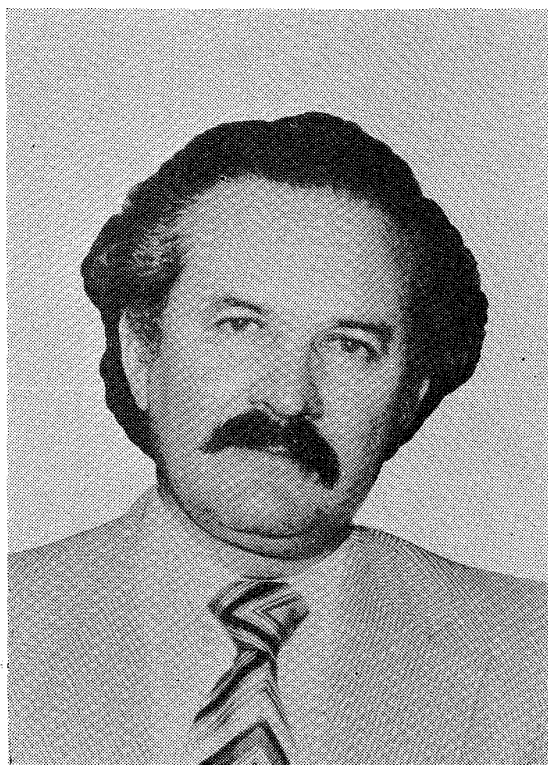


新 名 誉 会 員



Dr. Argenis J. Gamboa
(ラテンアメリカ鉄鋼協会元会長)

1927 年生れ, Venezuelan Central University 土木学科を卒業, 米国 Pittsburgh Univ. 冶金学科を卒業, さらに Carnegie Institute of Technology で学び 1958 年に学位を得ている.

1958 年に帰国, 母校 Venezuelan Central Univ. の Thermodynamics and Metallurgical Process の教授に任命されると同時に, ベネズエラ鉄鋼協会理事, 技術部長に就任, 併せて Venezuelan Development Corporation で Aluminum Industry に関する研究に参画した. 1960 年 Corporation Venezolana de Guayana (CVG) の Orinco Steel Mill (Sidor) の建設に関与し, 同技術部長, 取締役研究開発部長を経て, 1966~1974 まで CVG-SIDOR 社長, 1974~1979 年 3 月まで CVG の社長の要職にあった. 1979 年 7 月からは LAMIGAL 社専務取締役役に就任している.

この間 1965 年にはベネズエラ政府より欧州炭鉄共同体に派遣されたのを始め, 政府機関の活動に参画同国の工業開発において強力な指導者として多大の貢献をしている. 1975 年から 2 年間ラテンアメリカ鉄鋼協会会長 (ILAFA) を歴任, 日本の鉄鋼技術を高く評価し ILAFA との協力関係の緊密化に努力された.

Dr. Gamboa の業績に対してはベネズエラを始めドイツ, オーストリア, イタリアなど数ヶ国から叙勲があり, またアメリカ鉄鋼協会, フランス鉄鋼協会の名誉会員に推挙されている.

新 名 誉 会 員



Dr. Dario Vallejo Jaramillo

(ラテンアメリカ鉄鋼協会会長)

1946 年 Universidad Nacional de Colombia から法学および政治学で学位を取得した。その後実業界に入り、鉄鋼業、セメント工業の会社の経営に従事している。1967 年までは Cementos Diamante 社長、1967 年からは Acerías Poz del Río 社長として現在に至っている。

氏は Asociación Nacional de Industriales, Federación Colombiana de Industrias Metallurgicas, Universidad de Los Andes の理事であるほか、同国の経済界の Leader として、また多くの団体、会社の要職を兼ねている。

1978 年からはラテンアメリカ鉄鋼協会 (ILAFA) の会長の職にあり、前任者 A. J. Gamboa 氏とともに日本との技術交流の緊密化の推進に多大の貢献をされている。

氏の業績に対してコロンビア政府から数々の勲章を授与されている。またアメリカ鉄鋼協会の名誉会員に推挙されている。

新 名 誉 会 員



Prof. Dr. R. W. K. Honeycombe
(Goldsmith's Professor, University of Cambridge)

1921年生れ、1942年 University of Melbourne の物理冶金学科を卒業後、1947年まで Commonwealth Scientific and Industrial Research Organization (CSIRO) で航空機用ベアリング製造に関する研究に従事するかたわら金属塑性変形に関する一連の基礎研究もこの頃始められた。1947年に Imperial Chemical Industries の Research Fellow に選ばれたのち、Cambridge にある Cavendish Laboratory に移り金属結晶の塑性変形についての研究を行なった。1950年には Univ. Cambridge から Ph. D. のを取得されている。1951年から66年まで Sheffield Univ. で物理冶金学を担当、特に55年から58年までは学部長を歴任されている。1966年 Univ. Cambridge の冶金学科の教授に招かれ、同時に Goldsmith 財団から Goldsmith's Professor の称号を与えられ現在に至っている。

博士は金属塑性変形、合金鋼の構造と性状の研究で世界的に著名な方であり、その活動範囲は広く物理冶金全般に亘り、80を超える論文を発表している。また博士の許には我が国からも多くの研究者が学び薫陶をうけている。博士の業績に対して1959年 Rosenhain Medal of the Institute of Metals, 1963 Sir George Beilby Medal, 1971年 St Claire Devill Medal (フランス), R. F. Mehl Medal (アメリカ)などを贈られている。また The Institution of Metallurgists 会長を歴任の Fellow にも選ばれている。

博士は The Metals Society の次期(1980年)会長に就任が予定されている。